

# 地震・津波発生時にとるべき行動

## 発表される情報

## とるべき行動

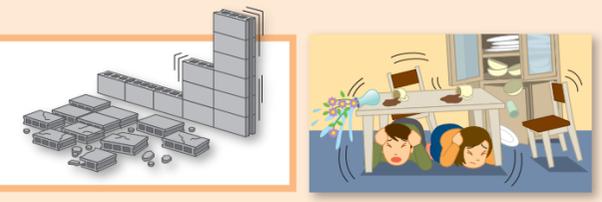
**地震発生**

地震発生から  
**1～10分**

**緊急地震速報**  
震度5弱以上が予測されたときに発表

「緊急地震速報」を見聞きしてから、身を守るための行動を取る必要があります。

●頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れましょう。  
●屋外では、ブロック塀の倒壊等にご注意ください。



**震度速報** 震度3以上で発表

命を守る行動を取りましょう。その後、揺れが収まってから避難行動を開始しましょう。

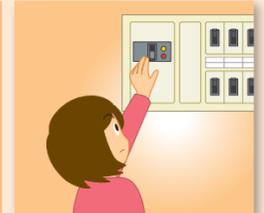
●大きな家具から離れるなど、落ち着いて自分の身を守りましょう。  
●ドアや窓を開けて、逃げ道を確保してください。



**津波に関する情報あり**  
地震発生から約3分後に発表

安全の確認、避難の準備・開始

●家族の安全を確認しましょう。  
●火の元を確認、初期消火を行いましょう。  
●次の地震に注意しましょう。  
●足のけがをしないように靴を履きましょう。



**津波注意報**  
高いところで1m以下の津波が予想される場合に発表

**津波警報**  
高いところで1m～3m以下の津波が予想される場合に発表

**大津波警報**  
高いところで3mを超える津波が予想される場合に発表

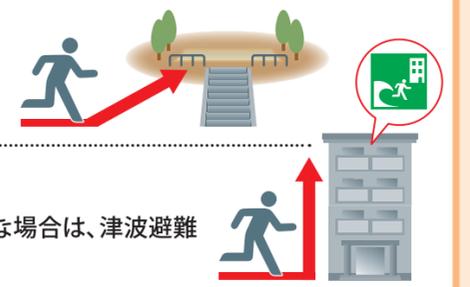
**浸水区域内にいる方は津波から避難する!**

**火災等の避難の必要がある場合、広域避難場所へ避難する**

**津波からは、より「遠く」より「高く」避難する**

**1 水平避難**  
鴨公園や新公園などを目標に、市東部の高い場所へ徒歩で避難してください。

**2 垂直避難**  
逃げ遅れたり遠くまで避難が難しいとき、どうしても水平避難が困難な場合は、津波避難ビルなどへ避難してください。



**避難指示**

**津波に関する情報なし**

**当面の危険が去ったら、自宅か避難所へ**  
避難所とは、中長年にわたる一定期間の避難生活を行う場所です。

**地域を守る、避難所等への移動**  
自宅の安全が確認できた場合には、自宅に留まることも選択肢の一つです。

●壊れた家には入らないようにしましょう。  
●地域で協力して、消火、救出活動を行いましょう。  
●避難所では、集団生活のルールを守り、助け合いましょう。



約100分後  
**津波到達**

災害情報、被害状況

# 地震について

## 震度と揺れの状況

高石市で想定される震度

上町断層:6強

南海トラフ地震:6弱

震度 4



- ほとんどの人が驚く。
- 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- 座りの悪い置物が倒れることがある。

震度 5弱



- 大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

震度 5強



- 物につかまらなると歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度 6弱



耐震性が高い

耐震性が低い

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

震度 6強

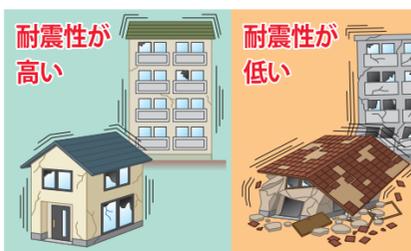


耐震性が高い

耐震性が低い

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

震度 7



耐震性が高い

耐震性が低い

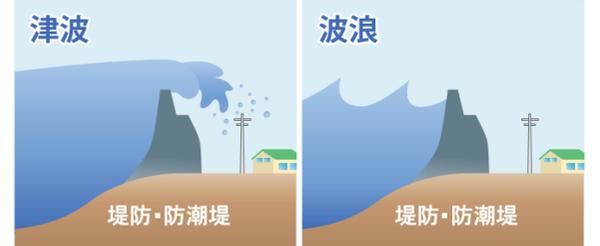
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

## 津波の特徴

地震・津波はいつ、どこで発生するか分かりません。津波が到達するおそれがある場所にいるときは、できるだけ早く、高いところに逃げる必要があります。津波の特徴を知り、身を守るためのポイントをしっかり確かめておきましょう。

### 津波の破壊力は凄まじい

- 普通の波(波浪)と違い、津波は海底地盤の上下による海水全体の動きのため、海底から海面までのすべての海水が巨大な水の塊となって沿岸に押し寄せ、その破壊力は凄まじいものとなります。
- 引き波も長時間にわたり引き続けるために、家屋などが一気に海中へと引き込まれてしまいます。

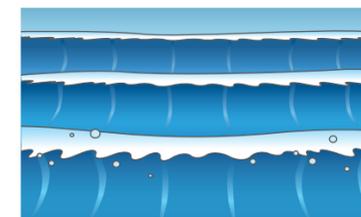


### 津波の速度は速い



- 津波が陸上をさかのぼるときの速さは、時速36km程度になります。これはオリンピックの短距離走者並みの速さです。
- 津波が見えてから、走って逃げ切ることは非常に困難です。

### 津波は繰り返し襲ってくる



- 津波は長い時間繰り返し襲ってきます。また、最初に到達する波が最も大きいとは限りません。
- 一度波が引いても、津波警報・注意報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

### 津波は河川を遡上する



- 津波は河口から侵入し、何キロメートルも上流に遡上(逆流)することがあります。
- 遡上した津波が、河川堤防を越えて沿川地域に大きな被害をもたらすことがあります。
- 津波警報や津波注意報が解除されるまでは、海岸はもちろんのこと、河川にも絶対に近づかないでください。

### 津波の前に引き波があるとは限らない



- 津波は引き波から始まるとは限りません。
- 地震の種類や震源付近の地形などの影響によっては、いきなり津波が襲ってくる場合があります。

### ? 津波と高潮の違いとは

高潮は気圧や風の影響により海表面の波が高くなり、短い周期で押し寄せますが、津波は、地震による海底地形の変動などが原因で起こるため、海底から海面までの海水全体が動き、水の壁となって長い周期で押し寄せます。

